

平成27年度秋学期授業評価アンケート結果について

【講評】

授業満足度の全体の平均が、昨年度の秋学期、今年度の春学期より上がっています。

国際関係学部専門科目、特別教育科目、教職・図書館学課程科目では、昨年度および全学平均と比較してほとんどの項目で評価が高く、授業満足度においても顕著であります。

しかし、全体的に授業満足度が上昇しているなかで、改善の途上であるのでしょうか、それが数値として表れていない授業も見受けられます。そのような科目においては、改善の努力が数値として表れるよう、一層の努力が求められます。

今回の特徴は、回収率が50%と切っている科目では比較的授業評価が高い傾向が見られます。これは最後まで受講した学生は比較的授業を高く評価していることによると推測されます。今後は、途中で授業に出なくなった学生の意見を汲み取る工夫が必要でしょう。

また、同じ回収率が50%と切った科目で、授業満足度に低い科目については、更なる授業改善の努力が必要です。

今回、13の質問項目のうち、授業の内容、技術に関する9項目を抽出し下記に表示しましたので、参考にしてください。教養や専門など10のグループに分類しています。なお、今年度の授業評価アンケートでは、履修登録者数が10名以下の科目と演習科目は対象から除いています。

<講義> 授業の内容、技術に関する質問項目

- 問1 授業の到達目標（テーマや目的）は毎回明確に示されていなかったか。
- 問2 授業内容は理解しやすい適切なレベルでしたか。
- 問3 授業は学生の理解度や学修の進捗度を確かめながら進められていなかったか。
- 問4 教員の声や話し方は聞き取りやすかったと思いますか。
- 問5 教員は教えることに熱意・情熱を持って授業に取り組んでいなかったか。
- 問6 教員は授業を妨害する私語や途中退室などに適切な処置をとっていなかったか。
- 問7 教員は学生へフィードバック（質問への応答あるいはレポートその他の課題などの解説など）に努めていたと思いますか。
- 問8 この授業から学習への刺激や触発を受けることが多かったと思いますか。
- 問9 この授業を受けて満足しましたか。
- 問10 あなたがこの授業に出席した比率は、およそ何%ですか。なお、ここでいう「出席」とは、遅刻・早退しなかった場合のみを指します。
- 問11 あなたはこの授業1回に対して、予習などの事前準備や復習にどの程度時間をかけましたか。
- 問12 問11で「1. 全くしていない」以外を選択した方のみお答えください。
- 問13 教員は授業開始時間を守っていませんか。

1. 教養教育科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015 秋 61 科目	4,107	2,601	63.3	4.19 (4.22)	4.10 (4.13)	4.06 (4.13)	4.17 (4.21)	4.14 (4.22)	4.11 (4.16)	4.10 (4.19)	4.03 (4.10)	4.08 (4.15)
2014 秋 56 科目	3,585	2,138	59.6	4.18 (4.16)	4.08 (4.07)	4.05 (4.09)	4.19 (4.18)	4.15 (4.18)	4.10 (4.09)	4.11 (4.13)	4.02 (4.03)	4.09 (4.11)

※ () 内は全体の数値。

全学部共通の教養教育科目は、全体の平均よりも若干低くなっています。昨年度の同一科目の平均もより若干低くなっています。

「文章表現」は、回収率 (%) は上昇しましたが、評価は下がりました。クラスによる評価のばらつきはありませんでした。授業科目として、底上げが必要であるように思われます。

昨年に引き続き評価の高かったのは、「教養特殊講義 6」でした。自由記入欄を見ても「授業が丁寧で分かりやすかった」との記入が多く見られました。

2. 外国語科目（必修）の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015 秋 15 科目	485	339	69.9	4.15 (4.22)	4.18 (4.13)	4.13 (4.13)	4.20 (4.21)	4.20 (4.22)	4.08 (4.16)	4.20 (4.19)	4.04 (4.10)	4.12 (4.15)
2014 秋 15 科目	473	318	67.2	4.15 (4.16)	4.21 (4.07)	4.21 (4.09)	4.24 (4.18)	4.22 (4.18)	4.05 (4.09)	4.21 (4.13)	4.03 (4.03)	4.14 (4.11)

※ () 内は全体の数値。

必修の英語科目に対する授業評価は、全体の平均よりも若干低くなっています。昨年度の同一科目の平均もより若干低くなっています。ただし、自由記入欄からは「授業が楽しい」「授業がわかりやすかった」との記入が多く見られます。

3. 外国語科目（選択）の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015 秋 33 科目	947	581	61.4	4.25 (4.22)	4.16 (4.13)	4.21 (4.13)	4.22 (4.21)	4.23 (4.22)	4.17 (4.16)	4.20 (4.19)	4.13 (4.10)	4.18 (4.15)
2014 秋 29 科目	829	549	66.2	4.27 (4.16)	4.21 (4.07)	4.22 (4.09)	4.33 (4.18)	4.31 (4.18)	4.22 (4.09)	4.31 (4.13)	4.18 (4.03)	4.30 (4.11)

※ () 内は全体の数値。

外国語の選択科目の授業評価は、全学平均と比較して、全ての項目で高くなっています。昨年に引き続き評価の高かったのは、「英語（リーディング）」「英語（ビジネス英会話）」「英語（日常英会話）」でした。自由記入欄を見ても「面白く楽しい」「分かりやすかった」との記入が多く見られました。

4. 留学生科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015 秋 3 科目	70	56	80.0	4.33 (4.22)	4.29 (4.13)	4.36 (4.13)	4.40 (4.21)	4.38 (4.22)	4.37 (4.16)	4.40 (4.19)	4.27 (4.10)	4.18 (4.15)
2014 秋 3 科目	74	52	70.3	4.35 (4.16)	4.31 (4.07)	4.45 (4.09)	4.41 (4.18)	4.40 (4.18)	4.37 (4.09)	4.32 (4.13)	4.21 (4.03)	4.39 (4.11)

※ () 内は全体の数値。

留学生科目は、例年は高い評価を得ており、全体の平均よりを上回っています。
回収率（%）も一番高く、脱落者もおらず、効果的な授業が行われていると思われます。

5. 法学部専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015秋 48科目	2,586	1,604	62.0	4.13 (4.22)	4.01 (4.13)	4.01 (4.13)	4.08 (4.21)	4.09 (4.22)	4.01 (4.16)	4.03 (4.19)	3.97 (4.10)	4.02 (4.15)
2014秋 38科目	3,186	1,881	59.0	4.04 (4.16)	3.95 (4.07)	3.96 (4.09)	4.03 (4.18)	4.05 (4.18)	3.99 (4.09)	4.01 (4.13)	3.91 (4.03)	3.97 (4.11)

※（ ）内は全体の数値。

法学部の専門科目の数値は、昨年度と比較して、全ての項目で上回っています。
特に「法律学基礎セミナー」など評価の高い科目もありました。それらの科目の自由記入では、「分かりやすかった」「楽しかった」との記入が多く見られました。

6. 経済学科専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015秋 30科目	2,099	1,284	61.2	3.79 (4.22)	3.66 (4.13)	3.64 (4.13)	3.80 (4.21)	3.80 (4.22)	3.82 (4.16)	3.74 (4.19)	3.62 (4.10)	3.68 (4.15)
2014秋 26科目	1,837	1,044	56.8	3.92 (4.16)	3.75 (4.07)	3.78 (4.09)	3.92 (4.18)	3.89 (4.18)	3.89 (4.09)	3.90 (4.13)	3.75 (4.03)	3.80 (4.11)

※（ ）内は全体の数値。

経済学科の専門科目の数値は全体の平均よりも大幅に低くなっています。また、昨年度の同一科目の平均と比べても、若干低くなっています。授業満足度において3.0未満の項目があった科目が昨年度と同様2科目ありました。

全体をとおして、授業改善の効果が表れていることが伺われます。とはいえ、科目により、授業満足度の数値に差があります。数値の低い科目が、全体の平均値を下げているように思われます。しかし、これらの科目においても、昨年度の授業満足度から比較すると、数値的には改善されています。また、アンケートの回収率もかなり上がっており、学生が最後まで受講していたといえ、この点において、改善の試みを評価できるでしょう。

昨年に引き続き評価の高かったのは、「財政学」「西洋社会経済史」でした。

7. 経営学科専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015秋 24科目	1,355	869	64.1	4.21 (4.22)	4.11 (4.13)	4.11 (4.13)	4.18 (4.21)	4.21 (4.22)	4.15 (4.16)	4.14 (4.19)	4.03 (4.10)	4.15 (4.15)
2014秋 23科目	1,466	865	59.0	4.13 (4.16)	4.02 (4.07)	4.05 (4.09)	4.14 (4.18)	4.12 (4.18)	4.04 (4.09)	4.05 (4.13)	3.98 (4.03)	4.02 (4.11)

※（ ）内は全体の数値。

経営学科の専門科目の値は、昨年度と比較して、満足度が上昇しております。

昨年に引き続き評価の高かったのは、「会計学Ⅱ」「経営管理論」でした。自由記入欄を見ても「分かりやすかった」「教え方がよかった」との記載がありました。

8. 国際関係学部専門科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015秋 35科目	1,699	1,125	66.2	4.31 (4.22)	4.17 (4.13)	4.18 (4.13)	4.25 (4.21)	4.31 (4.22)	4.24 (4.16)	4.27 (4.19)	4.21 (4.10)	4.24 (4.15)
2014秋 35科目	2,028	1,242	61.2	4.25 (4.16)	4.06 (4.07)	4.08 (4.09)	4.20 (4.18)	4.25 (4.18)	4.16 (4.09)	4.17 (4.13)	4.09 (4.03)	4.15 (4.11)

※（ ）内は全体の数値。

国際関係学部においては、昨年度および全学平均と比較して、ほとんどの項目で高い評価を得ました。他学部、他学科の専門科目と比べても全体的に最も評価が高くなっています。

全体をとおして、授業改善の効果が顕著に表れていることが伺われます。

9. 特別教育科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015秋 9科目	306	215	70.3	4.50 (4.22)	4.44 (4.13)	4.47 (4.13)	4.51 (4.21)	4.46 (4.22)	4.42 (4.16)	4.46 (4.19)	4.47 (4.10)	4.53 (4.15)
2014秋 17科目	746	494	66.2	4.29 (4.16)	4.25 (4.07)	4.20 (4.09)	4.30 (4.18)	4.34 (4.18)	4.18 (4.09)	4.22 (4.13)	4.25 (4.03)	4.26 (4.11)

※（ ）内は全体の数値。

特別教育科目は、全学平均と比較してすべての項目で、高い評価でした。

10. 教職・図書館学課程科目の平均

	履修者数	回答者数	回収率	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
2015秋 13目	312	239	76.6	4.29 (4.22)	4.20 (4.13)	4.18 (4.13)	4.32 (4.21)	4.35 (4.22)	4.29 (4.16)	4.36 (4.19)	4.27 (4.10)	4.34 (4.15)
2014秋 19科目	446	320	71.7	4.04 (4.16)	3.89 (4.07)	3.86 (4.09)	4.01 (4.18)	4.06 (4.18)	3.92 (4.09)	4.00 (4.13)	3.92 (4.03)	4.00 (4.11)

※（ ）内は全体の数値。

教職・図書館学課程の資格科目は、昨年度に比べ大幅に改善されております。

以上